



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年2月8日

上場会社名 株式会社 福岡中央銀行
コード番号 8540 URL <https://www.fukuokachuo-bank.co.jp/>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 古村 至朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 岡野 みゆき

TEL 092-751-4429

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	6,734	2.2	980	43.9	689	16.7
2021年3月期第3四半期	6,888	1.7	681	3.6	590	25.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	244.90	176.42
2021年3月期第3四半期	208.51	156.56

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	635,368	30,462	4.7
2021年3月期	574,504	30,733	5.3

(参考)自己資本 2022年3月期第3四半期 30,462百万円 2021年3月期 30,733百万円

(注)「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		25.00		25.00	50.00
2022年3月期		25.00			
2022年3月期(予想)				25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,600	8.2	900	12.7	600	15.6	221.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(2022年2月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	2,737,160 株	2021年3月期	2,737,160 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	28,304 株	2021年3月期	29,599 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	2,708,182 株	2021年3月期3Q	2,707,636 株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当行株式(2021年3月期18,400株、2022年3月期3Q16,933株)が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
(第1回A種優先株式)	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年 3月期	—	87.50	—	87.50	175.00
2022年 3月期	—	87.50	—		
2022年 3月期(予想)				87.50	175.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
※ 2022年3月期 第3四半期決算説明資料.....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の経営成績につきましては、経常収益は、有価証券利息配当金や株式等売却益の減少等を主因に前年同期比1億54百万円減少し67億34百万円となりました。

一方、経常費用は、与信関連費用が増加したものの、退職給付費用等営業経費が大幅に減少したこと等を主因に前年同期比4億54百万円減少し57億53百万円となりました。

その結果、経常利益は前年同期比2億99百万円増加の9億80百万円となり、四半期純利益につきましても、前年同期比99百万円増加の6億89百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況)

当第3四半期末における財政状態につきましては、総資産は、前事業年度末比608億64百万円増加して6,353億68百万円となり、負債は、前事業年度末比611億34百万円増加して6,049億5百万円となりました。また、純資産につきましては、前事業年度末比2億71百万円減少して304億62百万円となりました。

(主要勘定の状況)

主要勘定残高につきましては、預金及び譲渡性預金は、前事業年度末比570億92百万円増加して5,624億38百万円となりました。貸出金につきましては、前事業年度末比12億57百万円減少して4,271億84百万円となりました。また、有価証券につきましては、前事業年度末比108億47百万円減少して803億3百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月13日に公表しました、2022年3月期通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。なお、当第3四半期累計期間の四半期財務諸表に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。これにより、その他有価証券のうち株式は原則として決算期末月1ヵ月の市場価格の平均に基づく価格により評価しておりましたが、第1四半期会計期間末より四半期決算日の市場価格により評価しております。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
現金預け金	37,241	111,263
有価証券	91,150	80,303
貸出金	428,441	427,184
外国為替	795	65
その他資産	4,818	4,802
有形固定資産	13,431	12,994
無形固定資産	557	490
前払年金費用	1,819	2,062
繰延税金資産	37	185
支払承諾見返	246	228
貸倒引当金	△4,036	△4,213
資産の部合計	574,504	635,368
負債の部		
預金	505,196	545,741
譲渡性預金	150	16,697
債券貸借取引受入担保金	10,061	—
借入金	23,000	38,800
その他負債	3,154	1,482
役員株式給付引当金	32	42
睡眠預金払戻損失引当金	80	67
再評価に係る繰延税金負債	1,847	1,846
支払承諾	246	228
負債の部合計	543,771	604,905
純資産の部		
資本金	4,000	4,000
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	18,277	18,782
自己株式	△128	△123
株主資本合計	24,853	25,362
その他有価証券評価差額金	1,696	919
土地再評価差額金	4,183	4,179
評価・換算差額等合計	5,880	5,099
純資産の部合計	30,733	30,462
負債及び純資産の部合計	574,504	635,368

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
経常収益	6,888	6,734
資金運用収益	5,873	5,745
(うち貸出金利息)	5,113	5,046
(うち有価証券利息配当金)	722	629
役務取引等収益	706	796
その他業務収益	1	-
その他経常収益	307	192
経常費用	6,207	5,753
資金調達費用	136	97
(うち預金利息)	135	97
役務取引等費用	648	642
その他業務費用	-	0
営業経費	5,050	4,606
その他経常費用	371	407
経常利益	681	980
特別利益	198	97
固定資産処分益	198	97
特別損失	0	17
固定資産処分損	0	4
減損損失	-	13
税引前四半期純利益	879	1,059
法人税、住民税及び事業税	109	181
法人税等調整額	179	189
法人税等合計	288	370
四半期純利益	590	689

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する貸倒引当金の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大による取引先の経営状況及び経済環境全体に及ぼされる影響を考慮し当第3四半期累計期間において取引先の財務情報等に未だ反映されていない信用リスクに対する影響額を見積り、貸倒実績率に必要な修正を行うことにより、追加的な貸倒引当金を2億70百万円計上しております。

なお、前事業年度の有価証券報告書における(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の経済への影響を含む仮定について重要な変更はありません。

ただし、当該仮定についての不確実性は高く、新型コロナウイルス感染症の拡大による取引先の経営状況及び経済環境への影響が変化した場合には、2022年3月期財務諸表以降において、貸倒引当金は増減する可能性があります。

2022年3月期 第3四半期決算説明資料

(1) 損益の概況

コア業務純益は、役務取引等利益の増加や物件費の削減を主因に9億89百万円と前年同期比1億26百万円の増益となりました。

四半期純利益は、コア業務純益の増益に加え、株式等損益の増加を主因に6億89百万円と前年同期比99百万円の増益となりました。

(単位:百万円)

	2022年3月期 の予想値(注1)	2022年3月期	前年同期比	2021年3月期
		第3四半期 (9ヵ月間)		第3四半期 (9ヵ月間)
経常収益	【8,600】	6,734	△ 154	6,888
業務粗利益		5,801	5	5,796
資金利益		5,647	△ 89	5,736
役務取引等利益		154	96	58
その他業務利益		△ 0	△ 1	1
経費(除く臨時処理分)		4,812	△ 121	4,933
人件費		2,727	19	2,708
物件費		1,786	△ 108	1,894
税金		298	△ 32	330
実質業務純益(注2)		989	126	863
コア業務純益(注3)		989	126	863
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	【1,170】	989	133	856
一般貸倒引当金繰入額 ①		△ 300	△ 300	—
業務純益		1,289	426	863
うち国債等債券損益		—	—	—
臨時損益		△ 309	△ 128	△ 181
うち不良債権処理額 ②		625	553	72
うち株式等損益		86	114	△ 28
うち貸倒引当金戻入益 ③		—	△ 49	49
与信関係費用(① + ② - ③)	【400】	325	302	23
経常利益	【900】	980	299	681
特別損益		79	△ 118	197
税引前四半期純利益		1,059	180	879
法人税、住民税及び事業税		181	72	109
法人税等調整額		189	10	179
法人税等合計		370	82	288
四半期純利益	【600】	689	99	590

(注) 1. 2022年3月期の予想値は、2022年2月8日に公表したものであります。

2. 実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額

3. コア業務純益 = 実質業務純益 - 国債等債券損益

(2) 金融再生法開示債権

金融再生法ベースの開示債権額は、前年同期比10億77百万円減少し、113億39百万円となりました。また、総与信額に対する開示債権の比率は0.24ポイント低下し、2.65%となりました。

(単位:百万円、%) (参考)(単位:百万円、%)

	2021年12月末	2020年12月末	2021年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,751	5,467	4,849
危険債権	5,918	5,620	5,990
要管理債権	669	1,328	673
開示債権額(A)	11,339	12,416	11,513
正常債権(B)	416,324	416,404	416,801
総与信額(C) = (A)+(B)	427,663	428,820	428,315
不良債権比率(A)/(C)	2.65	2.89	2.68

(注) 当行は部分直接償却は実施しておりません。

(3) 時価のある有価証券の評価差額

その他有価証券の評価差額は、前年同期比4億23百万円減少し、13億1百万円の評価益となりました。

(単位:百万円)

(参考) (単位:百万円)

	2021年12月末				2020年12月末				2021年9月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	79,289	1,301	2,359	1,058	91,401	1,724	2,839	1,115	77,605	1,786	2,673	886
株式	6,951	1,143	1,476	333	6,825	1,591	2,012	421	7,007	1,481	1,742	261
債券	52,319	345	439	93	63,891	588	631	43	50,368	432	479	46
その他	20,018	△ 187	443	631	20,684	△ 455	195	650	20,229	△ 127	451	579

(注) 1. (四半)期末日の市場価格等に基づいて算出しております。

2. 満期保有目的の債券及び子会社・関連会社株式は、該当ありません。

(4) 預金・貸出金残高

総預金残高(譲渡性預金を含む)は、前年同期比77億94百万円増加し、5,624億38百万円となりました。
貸出金残高は、前年同期比11億35百万円減少し、4,271億84百万円となりました。

① 預金(未残)

	(単位:百万円)		(参考) (単位:百万円)
	2021年12月末	2020年12月末	2021年9月末
総預金	562,438	554,644	560,018
預金	545,741	551,961	543,320
うち個人預金	341,032	342,568	338,716
譲渡性預金	16,697	2,682	16,697

② 貸出金(未残)

	(単位:百万円、%)		(参考) (単位:百万円、%)
	2021年12月末	2020年12月末	2021年9月末
貸出金	427,184	428,319	427,937
うち中小企業等貸出残高	383,000	393,399	385,720
中小企業等貸出比率	89.65	91.84	90.13
うち個人ローン残高	65,318	65,533	65,702
個人ローン比率	15.29	15.30	15.35

(5) 預かり資産残高

預かり資産残高は、前年同期比2億28百万円減少し、422億33百万円となりました。

	(単位:百万円)		(参考) (単位:百万円)
	2021年12月末	2020年12月末	2021年9月末
預かり資産残高	42,233	42,461	42,866
投資信託	14,932	13,603	15,207
公共債	739	771	750
個人年金保険等	26,561	28,086	26,909

以 上